

# 陳 情 文 書 表

1 件 名 子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める  
意見書の提出を求める陳情書

2 受 理 番 号 陳情第9号 令和4年11月11日受理

3 陳 情 者 千葉県保育問題協議会  
会長 田島 潤一

## 4 要 旨

コロナ禍で保育所の重要性は広く社会に認識されたが、感染対策を徹底しながら、子どもの発達を保障し、子育て家庭を支えるには、現在の配置基準は不十分であり、子どもの命と安全を守るためにも保育士増員が急務となっている。

小学校では、コロナ禍を受けて全学年での少人数学級化が順次実施されており、2021年度「学校基本調査」によれば、公立小学校の学級あたりの平均児童数はすでに22.7人になっている。一方で、小学生よりも幼い乳幼児が長時間生活する保育所等の4・5歳児の配置基準（子ども30人に保育士1人）が、基準制定以来70年以上一度も見直されていないことは、由々しき事態と言わざるを得ない。

国は2023年4月に「こども家庭庁」を創設して、これまで以上に子ども関連施策の充実・推進をめざし、予算も倍増するとしている。それならば、いまこそ保育関係予算を大幅に増やし、保育士配置基準の引き上げによる保育士増員、処遇の改善を国の責任ですすめるべきである。

ついては、貴議会より、国に対して以下の事項について実現されるよう強く要望するため、「子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書」を提出していただけるよう陳情する。

1. 子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を図ること。
2. 公定価格を引き上げ、保育士等の処遇改善を図ること。

5 付 託 委 員 会 教育民生常任委員会